

令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要

札幌市立月寒中学校

質問紙調査の結果について

全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの

質 問 事 項
○ 自分には、よいところがあると思いますか。 ○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 ○ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。 ○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。 ○ 各教科（国語・数学・英語）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの

質 問 事 項
● 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。 ● 学習した内容について、わかった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 ● 人が困っているときは、進んで助けていますか。 ● 将来の夢や目標をもっていますか。 ● 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

結果の分析と今後の改善の方向

質問紙調査の結果から、本校の生徒たちの自己肯定感や、多様な考え方を認め合う柔軟な姿勢、そして現代的な ICT を活用した学習スキルが伸びていることが分かりました。学習面においても、各教科の学びに対する前向きな意欲が高まっており、その主体的な姿勢が成果にしっかりと表れています。

一方で、日々の授業を振り返り、授業で分かった点・分からなかった点を見直し、次の学習につなげる「自己調整力」の育成には、まだ課題が残されています。また、将来への具体的な展望をもつことや、自発的な行動において消極的な傾向が見られ、学校全体で相談支援のあり方やキャリア教育の計画を見直す必要があると考えています。

これらの結果を踏まえ、今後は、①学びの「振り返り」と「活用」の強化、②相談しやすい環境づくりと「助け合い」の推進、③キャリア教育の充実の3点を柱に、生徒一人一人の成長を支える教育活動の推進に努めてまいります。

教科に関する調査の結果について

結果の概要については、学習指導要領で示されている各教科の領域について、本校の平均正答率を全国の平均正答率（全国平均）と比較して５段階で表しています。

【 ５段階 】	
上回っている	+3.1 ポイント以上
ほぼ同程度であるが、やや上回る	+3.0～0 ポイント
ほぼ同程度である	全国平均と同じ
ほぼ同程度であるが、やや下回る	0～－3.0 ポイント
下回っている	－3.1 ポイント以下

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均を上回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均を上回っている。 「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均を上回っている。 「書くこと」 ◇全国平均を上回っている。 「読むこと」 ◇全国平均を上回っている。	○文法の仕組みを理解すること。 ○互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ○表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。 ○読解を通し理解したことに基づいて、自分の考えを深めること。	○普段の授業から文法について復習の機会を作る。 ○普段の授業から適切な質問を考える活動を行う。 ○作文の相互添削活動の強化を行う。 ○教材読解後に自分の考えを作文にするなどする。

【数学】

本校の概要

「数と式」

◇全国平均を上回っている。

「図形」

◇全国平均を上回っている。

「関数」

◇全国平均を上回っている。

「データの活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

今回の調査における課題

○事柄が成り立つ理由について文字を使って説明すること。

○図形の性質を既習の定義や定理を根拠に証明すること。

○数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

○確率の求め方や度数分布多角形、箱ひげ図と四分位数の対応について理解すること。

改善の方向

○「式の意味」「答えや解を求める方法」「事柄が成り立つ理由」などについて、授業の中で生徒が説明する機会を増やす。

○三角形や四角形の性質について学習を深め、仮定となる辺や角の関係から論理的に説明することができるよう指導する。

○与えられた表やグラフから必要な情報を適切に取り、問題解決を図るよう指導する。

○起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求める練習をする。

○データの傾向を的確に捉え判断した理由を度数分布多角形や箱ひげ図の特徴を基に説明する機会を増やす。

【英語】

本校の概要

「読むこと」

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「聞くこと」

◇全国平均を上回っている。

「話すこと（やり取り）」

◇全国平均を上回っている。

「話すこと（発表）」

◇全国平均を上回っている。

「書くこと」

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

○概要や筆者の主張を捉えることは概ねできているが、自分の置かれた状況などから判断して情報を読み取る力が十分に身に付いていないこと。

○発表の要点を聞き取る設問の正解率が高いものの、日常的な会話において、細かな内容を正確に聞き分ける力が不足していること。

○知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能は身に付いているが、相手に依頼する表現については、定着が不十分であること。

○日常的话题や社会的な話題において、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話す力は十分に身に付いている。

○日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して書くことにおいて、理由を書く力が不足していること。

改善の方向

○目的に応じて必要な情報を読み取り、条件と照らし合わせて正確に解釈・判断するリーディングスキルの育成を図る。

○場面や状況を意識し、話の展開を予測する力、具体的な事実関係や数量などの細かな情報を注意深く聞き取る力を強化する。

○日常的な話題について、ペアワーク等での即興的なやり取りの機会を増やし、相手の意図を汲み取り、自分の考えを英語で粘り強く伝える表現力を高める。

○スピーチやプレゼンテーションの機会を継続的に設け、表現の正確さと発信力の両面からの導を継続していく。

○相手や状況に応じたライティング活動を通じて基礎的な文法等を定着させ、複数の文で理由や詳細を論理的に発信する表現力の育成を図る。